

窓辺

いけの
池野 文昭

ドクターヘリ

音が響き渡った。上空を見上げると防災ヘリオレンジアロー号がいた。

ヘリに同乗し、浜松医大に着陸するまで15分もかからなかった。ヘリ搬送は、

医学生だったころ、アメリカの山間へき地診療所を訪問した。その時、緊急患者搬送にヘリコプターを使用しているのを目の当たりに

し、驚いた。20年前、佐久間病院に赴任した

時は北遠域にまだ救急隊がなく、役場の搬送車に医師が同乗し、救急患者を浜松市内の病院まで搬送した。何度も同乗したが、山のくねくね道を走ること2時間。市内の病院に到着する頃には、患者様だけでなく同乗医師



もひどい車酔いをした。その時、アメリカで見たヘリ搬送を思い出した。佐久間病院の先輩医師と相談し、陸路搬送が危険な緊急患者が来たら、県の防災ヘリを患者搬送に使用しようと計画した。

そして1998年9月1日、緊急を要する重症患者が昼ごろ来院した。防災ヘリを県防災課に要請したが、運悪くちょうどその日は、年1回の「防災の日」。

ヘリがどこかへ出払っていた。諦めていちかばちか陸路搬送しようとした時、佐久間の山間にけたたましい音が響き渡った。上空を見上げると防災ヘリオレンジアロー号がいた。

日、緊急を要する重症患者が昼ごろ来院した。防災ヘリを県防災課に要請したが、運悪くちょうどその日は、年1回の「防災の日」。

ヘリに同乗し、浜松医大に着陸するまで15分もかからなかった。ヘリ搬送は、佐久間の住民救急搬送に使えると思った。翌99年、聖隷三方原病院で本邦初ドクターヘリの試験飛行が始まった。その後、国の法制化が進み、現在の本県は2機のドクターヘリが常備された数少ない県であり、多くの人命を救っている。

が、運悪くちょうどその日は、年1回の「防災の日」。

ヘリがどこかへ出払っていた。諦めていちかばちか陸路搬送しようとした時、佐久間の山間にけたたましい音が響き渡った。上空を見上げると防災ヘリオレンジアロー号がいた。

ヘリがどこかへ出払っていた。諦めていちかばちか陸路搬送しようとした時、佐久間の山間にけたたましい音が響き渡った。上空を見上げると防災ヘリオレンジアロー号がいた。

ヘリに同乗し、浜松医大に着陸するまで15分もかからなかった。ヘリ搬送は、佐久間の住民救急搬送に使えると思った。翌99年、聖隷三方原病院で本邦初ドクターヘリの試験飛行が始まった。その後、国の法制化が進み、現在の本県は2機のドクターヘリが常備された数少ない県であり、多くの人命を救っている。

音が響き渡った。上空を見上げると防災ヘリオレンジアロー号がいた。

音が響き渡った。上空を見上げると防災ヘリオレンジアロー号がいた。

スタンフォード大
主任研究員、医師